

JM&P A Brilliant Club

日本マナー・プロトコール協会

News Letter
February 2017

季節をまとう美しき装い ～受け継がれる千年の美・着物～



日本の民族衣裳である着物の特徴は、季節感を大切にすることです。季節にあわせ素材・色・柄を変えて見る者の目を楽しませることは日本の“おもてなし”的精神にも通じます。

着物の原型は奈良時代後期に生まれ、平安時代中期に貴族の女性が着る儀礼の服装として“十二单”が完成しました。現在でもご即位の大礼や皇族妃のご成婚の着衣に用いられていて、その伝統が受け継がれています。その後、室町時代に“小袖”が登場し現在の着物へと発展してきました。現在では国内外を問わず、着物の美しさ、装いに関心が高まっています。

今回のブリアントクラブイベントでは、民族衣裳文化普及協会の小川喜代子様をお迎えし、「着物の歴史」をご紹介いただきます。さらに着物の原点である十二单を、事務局スタッフがモデルとなり着装いたします。皆様も実際に近くで、十二单の構成や着こなしを見る事ができ、最後には十二单のモデルとともに記念撮影もできますので、ぜひお楽しみください。

成り立ちから現代の装いのポイントに至るまで「着物の世界」により深く触れることで、日本人の美意識を改めて学べる機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

内閣府移行認可

一般財団法人民族衣裳文化普及協会

昭和52年に財團法人として設立。

昭和54年皇室より三笠宮妃百合子殿下を名誉総裁にお迎えし、平成26年一般財團法人に移行。きもの文化の普及を目的とした公益性の高い団体として、日本の民族衣裳である「きもの」を一人でも多くの方に親しんでいただくために、国内外を通じ日々“きもの文化普及活動”を行っている。

<実施概要>

日時：2017年3月26日(日)14時～16時
場所：日本マナー・プロトコール協会セミナールーム
地下鉄半蔵門線半蔵門駅 1番出口から
徒歩約2分
会費 3,000円(ブリアントクラブ会員)
5,000円(一般)
定員 24名(ぜひ、お知り合いをお説いください)
※定員になり次第締め切らせていただきます

おがわ きよこ
小川 喜代子 氏

一般財団法人民族衣裳文化普及協会
副総委員長

昭和55年よりきもの指導に携わり、以来36年に渡り講師の指導育成に励まれている。
平成8年にはきもの文化普及の功績が認められ、民族衣裳文化普及協会の名誉総裁三笠宮妃百合子殿下より、文化功労賞を受賞。王朝装束の数少ない伝承者として十二单を始めとする公開講座を行い、日本伝統文化の普及啓蒙に活躍されている。



お申し込み メール (brc@e-manner.info) またはお電話 (03-5212-2600) でも承ります

FAX 03-5212-2626

※切り取らずこのままお送りください

お名前	同伴者	あり()名	お名前()
携帯電話() -	メールアドレス	@	